

北九州市観光動態調査  
(平成19年次)

報告書

北九州市

# 目 次

1章 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査方法	1
1.3 調査結果の概要	2
2章 日帰り観光客数の推計	4
2.1 通年型日帰り観光客数の推計	4
2.2 季節型日帰り観光客数の推計	5
3章 宿泊観光客数の推計	8
4章 来北観光客数の推計	9
4.1 通年型来北観光客数	9
4.2 季節型来北観光客数	10
5章 観光消費額とその経済波及効果	11
5.1 観光消費額	11
5.2 経済波及効果の試算	12
6章 まとめ及び考察	13
6.1 通年型観光客数	13
6.2 季節型観光客数	14
6.3 観光消費額（通年型）と経済波及効果	14
【参考 - 1】過去の外国人観光客数（概数）	15
【参考 - 2】過去の修学旅行生数（概数）	15
7章 観光客数推移動向	16
7.1 年次別観光客数内訳	16
7.2 年次別代表的立寄り施設観光客数内訳	17
7.3 年次別季節型観光客数内訳	18

# 1 章 調査概要

## 1.1 調査目的

平成 19 年次の観光動向としては、全国的な国内宿泊観光旅行の減少、余暇活動の動向等の変化が、本市の観光動向に影響を及ぼしたと考えられる。

そこで、平成 15 年度から 16 年度にかけて実施した基本調査等で得られたデータと過年度成果をもとに、より正確な観光客の動向と特性を把握し、本市観光行政をはじめとする各行政施策を推進する際の基礎資料とする。

## 1.2 調査方法

調査方法は、図 1 - 1 の調査全体フローに示すとおりである。

なお、推計は平成 19 年次（平成 19 年 1 月～12 月）とする。

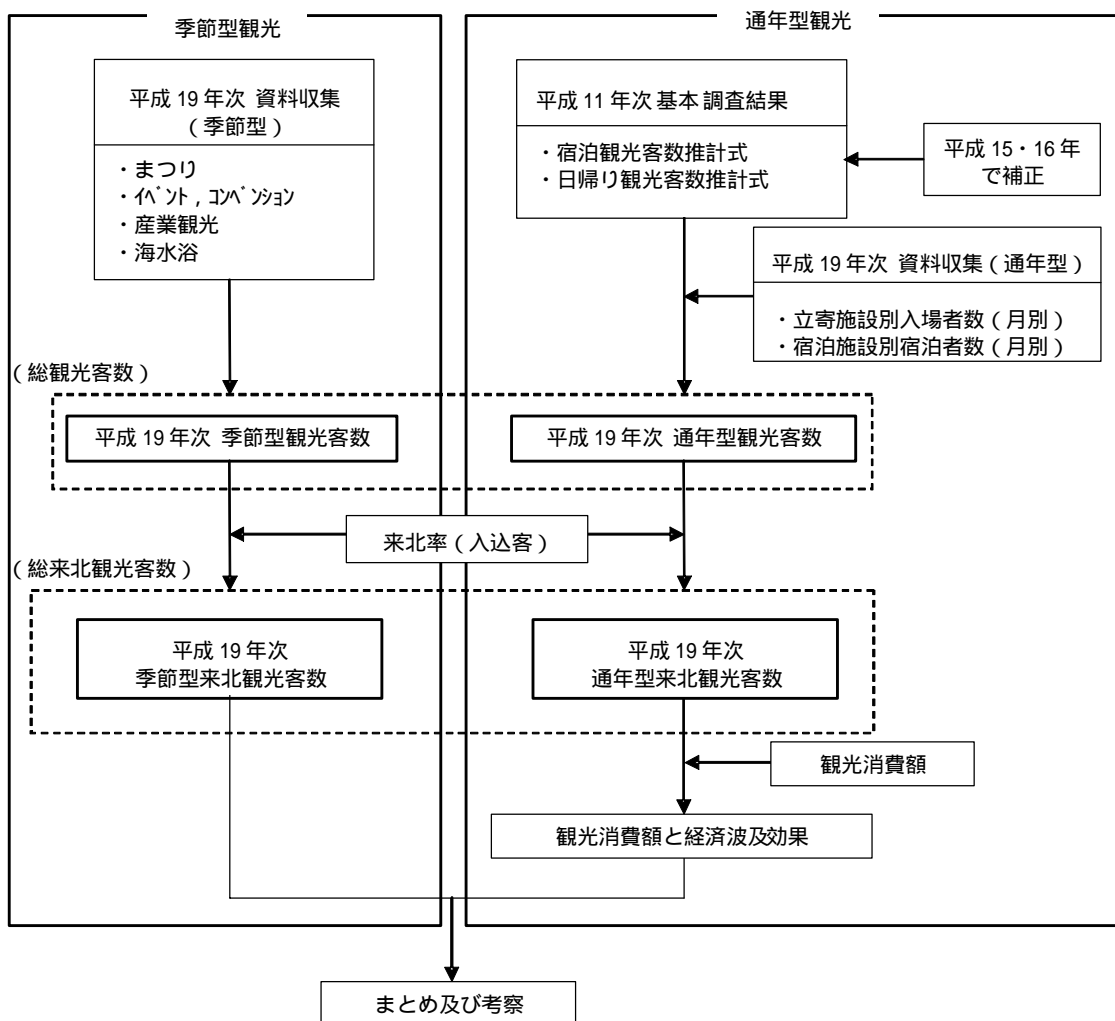


図 1 - 1 調査全体フロー

### 1.3 調査結果の概要

#### (1) 平成 19 年次調査結果

北九州市における平成 19 年次の通年型観光客数は、1,168.1 万人、季節型観光客数は 521.2 万人で、総観光客数は、1,689.3 万人であった。そのうち市民外観光客は通年型では 624.9 万人、季節型では 123.3 万人、計 748.2 万人であった（表 1 - 1，図 1 - 2）。

また、通年型観光客の年間消費額は約 630.5 億円であり、この消費額が北九州市の生産部門に与える誘発効果（一次）は、約 1.36 倍の 859.8 億円と推定される。（5 章 P.12 参照）

表 1 - 1 観光客数

（単位：万人）

区分		市民外	市民	計
通年型	市内宿泊	89.1 (96.6%)	3.1 (3.4%)	92.2 (100.0%)
	日帰り	535.8 (49.8%)	540.1 (50.2%)	1075.9 (100.0%)
	小計	<b>624.9 (53.5%)</b>	<b>543.2 (46.5%)</b>	<b>1168.1 (100.0%)</b>
季節型	日帰り	123.3 (23.7%)	397.9 (76.3%)	521.2 (100.0%)
総観光客数		748.2 (44.3%)	941.1 (55.7%)	1689.3 (100.0%)

※季節型はすべて日帰り観光客

※本市では「観光客数」という場合、一般的には通年型観光客数をいう。

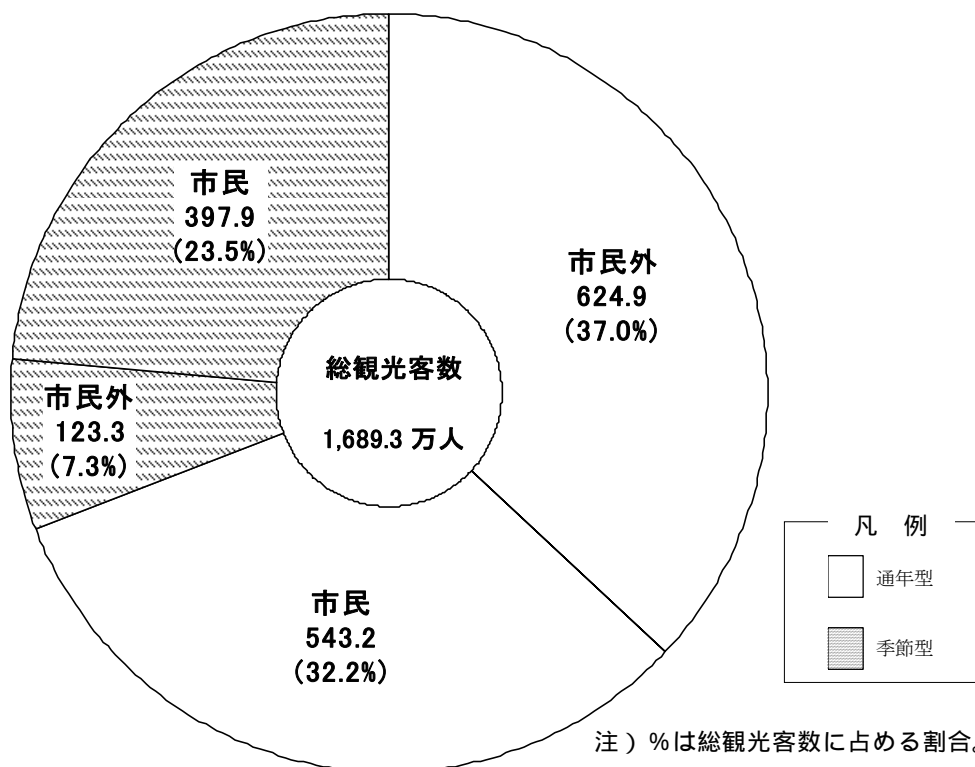


図 1 - 2 観光客の市民・市民外の内訳

表 1 - 2 代表的な立ち寄り地区の通年型観光客数の内訳

(単位:万人)

地 区	種 類	日帰り客	宿泊客	計
門司港地区		313.1 ( +9.9 )	30.9 ( △0.7 )	344.0 ( +9.2 )
	レトロ地区	195.1 ( +6.7 )	25.1 ( △0.5 )	220.2 ( +6.2 )
	和布刈	118.0 ( +3.2 )	5.8 ( △0.2 )	123.8 ( +3.0 )
スペースワールド地区		177.0 ( △1.3 )	22.9 ( +1.2 )	199.9 ( △0.1 )
小倉城周辺		37.3 ( +0.9 )	6.0 ( +0.1 )	43.3 ( +1.0 )
小倉駅周辺 (AIM, アミュプラサ)		38.1 ( △1.0 )	2.2 ( +0.1 )	40.3 ( △0.9 )
皿倉山周辺		37.7 ( △1.9 )	3.5 ( ±0.0 )	41.2 ( △1.9 )
平尾台		53.9 ( +1.9 )	1.5 ( △0.2 )	55.4 ( +1.7 )
グリーンパーク		50.8 ( +6.5 )	1.0 ( ±0.0 )	51.8 ( +6.5 )
河内貯水池周辺		24.9 ( △7.3 )	0.2 ( ±0.0 )	25.1 ( △7.3 )
到津の森公園		37.9 ( +3.9 )	0.3 ( +0.1 )	38.2 ( +4.0 )
総合農事センター		32.0 ( +3.3 )	0.0 ( ±0.0 )	32.0 ( +3.3 )
北九州空港		64.6 ( △9.1 )	0.0 ( ±0.0 )	64.6 ( △9.1 )

- 注 1 ) ( ) 値は対前年次比較差  
 注 2 ) 各施設毎の計は、各施設から入手したデータより算出  
 注 3 ) 日帰り・宿泊については、各施設のアンケート調査結果を基に計に乗じて算出  
 注 4 ) この表の数値は、重複補正していない数値

表 1 - 3 季節型観光客 (日帰り) 内訳

(単位:万人)

種類	総観光客数	うち来北観光客数
まつり	459.9 ( +31.9 )	101.2 ( +4.1 )
コンベンション	39.2 ( +0.7 )	13.8 ( △3.7 )
産業観光	15.6 ( +1.0 )	7.0 ( +2.0 )
海水浴	6.5 ( △0.1 )	1.3 ( ±0.0 )
季節型計	521.2 ( +33.5 )	123.3 ( +2.4 )

注 ) ( ) 値は対前年次比較差

## 2 章 日帰り観光客数の推計

### 2.1 通年型日帰り観光客数の推計

平成 19 年次の調査結果である施設の月別入場者数等を、基本調査を基に作成した推計式に代入して算出した結果を表 2 - 1 に示す。

その結果、平成 19 年次の日帰り観光客数は 1,075.9 万人と推計され、前年次と比較して 17.5 万人増加している。

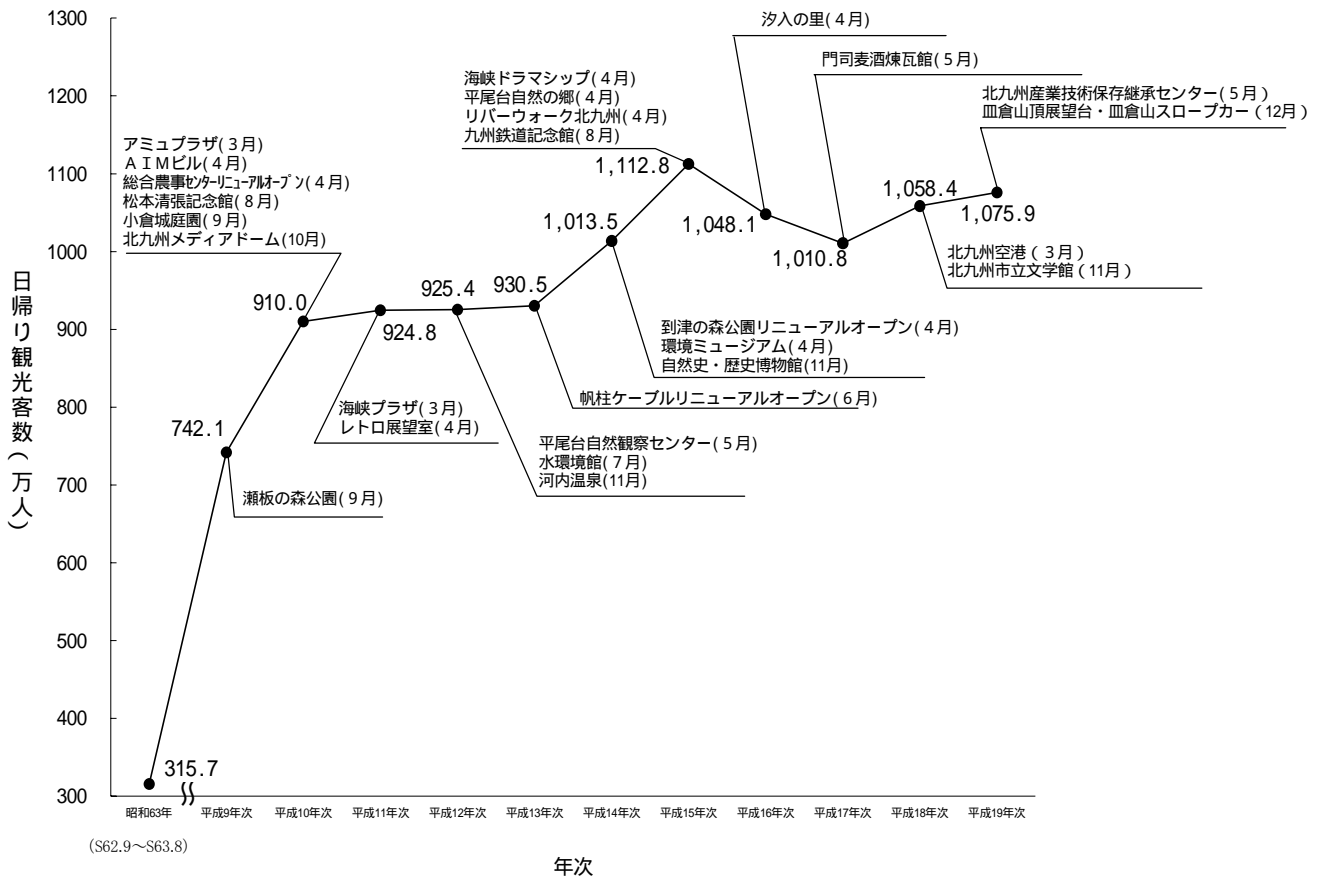


図 2 - 1 通年型日帰り観光客数

表 2 - 1 通年型日帰り観光客数の推計結果

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
日帰り観光客数の推計値 (人)	631,890	626,711	1,011,839	1,011,284	1,289,166	683,723	655,372	1,315,946	922,483	984,199	955,406	671,427	10,759,446

## 2.2 季節型日帰り観光客数の推計

季節型観光として、前回と同様 まつり、 コンベンション観光、 産業観光、 海水浴 観光の4観光をとりあげた。

### (1) まつり観光

まつり観光は、表2-2に示す見物客数上位10位までのまつりを対象とした。

日帰り観光客の推計式は次式のとおりである。

$$\text{まつり日帰り観光客数} = \text{見物客} \times \text{日帰り観光率} \\ (\text{主催者発表})$$

推計結果は、約459.9万人で前年次と比較して、31.9万人(約7.5%)増であった。

表2-2 まつり日帰り観光客数

順位	開催 季節	まつり	見物客数 (万人)	日帰り 観光率(%)	まつり日帰り 観光客数(万人)	参考 (平成18年次)
1	夏	わっしょい百万夏まつり	155.0	96.0 注1)	148.8	148.8
2	夏	門司海峡花火大会	70.0	96.7 注2)	67.7	67.7
3	秋	まつり起業祭八幡2007	68.0	99.7 注1)	67.8	73.8
4	夏	黒崎祇園山笠	42.0	99.8 注2)	41.9	20.0
5	春	門司みなと祭	41.0	93.9 注2)	38.5	25.8
6	夏	小倉祇園太鼓	31.0	99.6 注2)	30.9	33.9
7	夏	くきのうみ花火の祭典・若松みなと祭り	25.0	99.4 注2)	24.9	29.8
8	夏	戸畑祇園大山笠	20.0	98.6 注2)	19.7	16.9
9	春	吉祥寺藤まつり	12.0	98.5 注3)	11.8	5.9 注5)
10	秋	小倉城まつり	8.0	98.5 注3)	7.9	5.4
計			472.0	(97.4) 注4)	459.9	428.0

注1) 平成7年次実態調査結果

注2) 平成11年次実態調査結果

注3) 注1)及び注2)の平均値を用いた。

注4) ( )値は逆算値

注5) 平成18年次9位のとばた菖蒲まつり2006の値

## (2) コンベンション観光

コンベンション観光は、入場者数上位5つを対象とし、入場者数はすべて日帰り観光客とした(表2-3)。

推計結果は約39.2万人で、前年次と比較して0.7万人(約1.8%)増であったが、ほぼ横ばい傾向を示している。

表2-3 コンベンション日帰り観光客数

順位	開催 季節	コンベンション (イベント)	入場者数 (日帰り観光客数) (万人)	来北率 (%)	来北 観光客数 (万人)	参考 (平成18年次入場者数)
1	春	門司港レトロフェスタ	15.0	67.3	10.1	(門司港レトロフェスタ) 17.0
2	秋	エコスタイルタウン2007	13.0	-	-	(2006 西日本国際食品見本市) 7.7
3	春	西日本インポートフェア 2007	4.1	20.0	0.8	(西日本インポートフェア2006) 5.7
4	秋	第29回西日本陶磁器フェスタ	4.1	33.7	1.4	(第28回 西日本陶磁器フェスタ) 4.3
5	秋	2007門司港レトロカーフェスティバル	3.0	50.0	1.5	(ロボカップジャパンオープン2006北九州) 3.8
計			39.2	(52.7)	13.8	38.5

注) 2位の「-」は不明を指す。従って、計の来北率を算定するにあたって母数からは2位の観光客数を除いている。

出典 ・入場者数，来北率は主催者発表による数字  
・( )内は逆算値

## (3) 産業観光

北九州市内にある35の産業観光施設(日産自動車(株)九州工場は苅田町、トヨタ自動車九州(株)は宮若市にあるため除く)の見学者全員を日帰り観光客とした。

平成19年次の産業観光客は15.6万人で、前年次と比較して1.0万人(約6.8%)増であった。

(4) 海水浴観光（7月中旬～8月中旬）

海水浴観光客は、次式により算定される。

$$\begin{aligned} \text{日帰り海水浴観光客数} &= 6.8 \text{人/台}^{\text{注)}} \times 9,600 \text{台（総駐車台数）} \\ &= 65,280 \text{人} \end{aligned}$$

注) 平成8年次調査結果及び施設提供資料より

平成19年次の日帰り海水浴観光客数は、約6.5万人と推計される。前年次に比べて0.1万人（約1.5%）減となった。

(5) まとめ

平成19年次の季節型日帰り観光客数は、521.2万人と前年次より33.5万人（約6.9%）増加している。

表2 - 4 季節型日帰り観光客数

（単位：万人）

季節型	日帰り観光客数	参考 (平成18年次)
まつり	459.9 (+31.9)	428.0
コンベンション	39.2 (+0.7)	38.5
産業観光	15.6 (+1.0)	14.6
海水浴	6.5 (△0.1)	6.6
計	521.2 (+33.5)	487.7

注) ( ) 値は対前年次比較差

## 3 章 宿泊観光客数の推計

平成 19 年次の調査結果である施設別月別宿泊客数を基本調査を基に作成した推計式に代入して算出した結果を表 3 - 1 に示す。

表 3 - 1 月別宿泊観光客数

(単位:人)													
\	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
公的施設	10,314	8,819	8,529	8,599	11,103	9,462	10,045	14,878	9,051	10,700	13,130	11,660	126,290
旅館	586	734	690	651	823	1,548	1,686	2,577	1,377	2,016	2,016	1,180	15,884
ホテル	54,009	54,577	59,633	48,758	55,895	69,118	76,513	94,173	65,578	68,976	72,362	59,812	779,404
合計	64,909	64,130	68,852	58,008	67,821	80,128	88,244	111,628	76,006	81,692	87,508	72,652	921,578

その結果、平成 19 年次の宿泊観光客数は 92.2 万人と推計され、前年次と比較すると 5.9 万人減少している(図 3 - 1)。

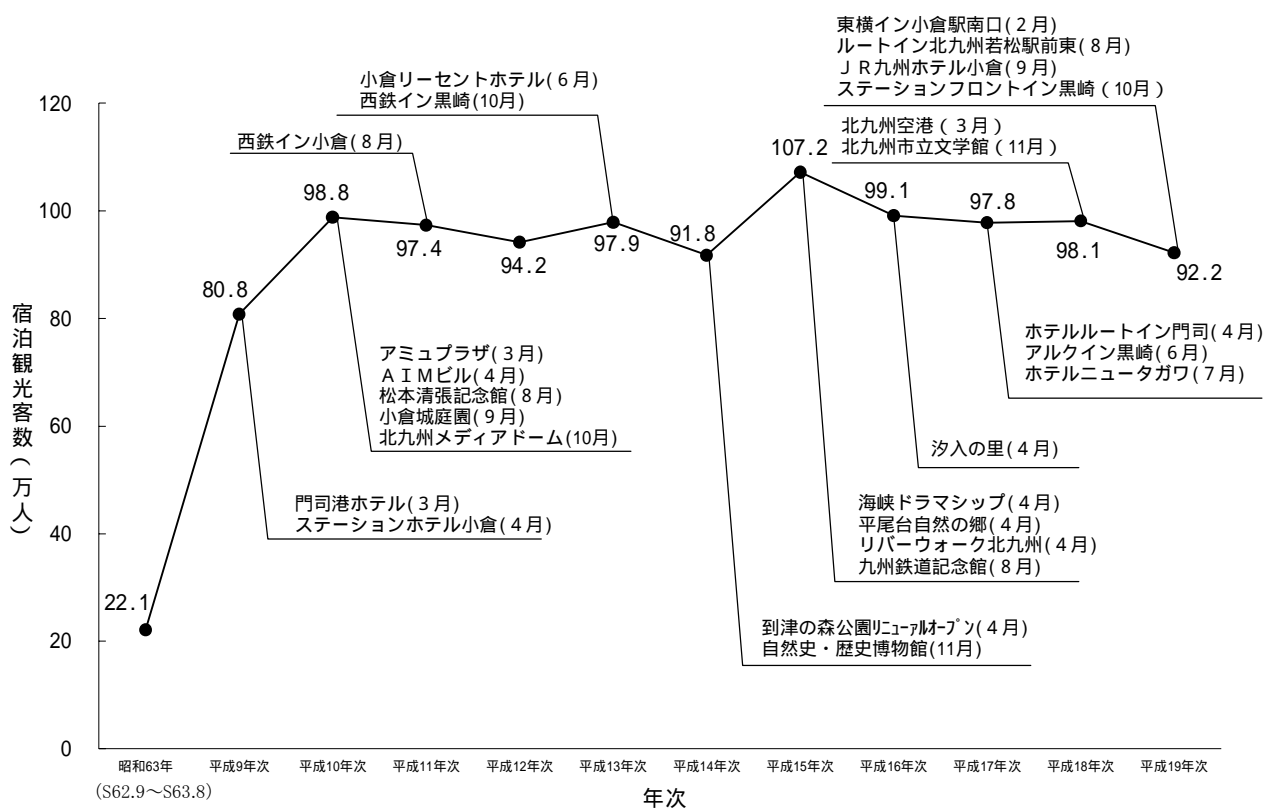


図 3 - 1 宿泊観光客数の推移

## 4 章 来北観光客数の推計

この章では、市民以外の来北観光客数を推計する。

### 4.1 通年型来北観光客数

通年型の来北観光客数を推計すると表4-1に示すとおり、日帰り客 535.8 万人、宿泊客 89.1 万人の計 624.9 万人となっている。

表4-1 来北観光客数（通年型）

H19年来北観光客数（通年型）

	季節	観光客数 (万人)	来北率 (%)	来北観光客数 (万人)
日帰り観光	冬(12月～2月)	193.0	55.6	107.3
	春(3月～5月)	331.2	46.8	155.0
	夏(6月～8月)	265.5	53.4	141.8
	秋(9月～11月)	286.2	46.0	131.7
	小計	1075.9	(49.8)	535.8
宿泊観光	冬(12月～2月)	20.2	92.3	18.6
	春(3月～5月)	19.5	98.2	19.1
	夏(6月～8月)	28.0	96.3	27.0
	秋(9月～11月)	24.5	99.4	24.4
	小計(万人・泊)	92.2	(96.7)	89.1
合計		1168.1	(53.5)	624.9

注) ( ) 値は逆算値

前年次調査結果と比較すると、日帰りが 9.4 万人(約 1.8%) 増、宿泊が 5.7 万人(約 6.0%) 減、計 3.7 万人(約 0.6%) 増となっている。

表4-2 通年型来北観光客数の推移

(単位:万人)

年 区分	昭和63年 S.62年9月～ S.63年8月	平成 9年次	平成 10年次	平成 11年次	平成 12年次	平成 13年次	平成 14年次	平成 15年次	平成 16年次	平成 17年次	平成 18年次	平成 19年次
日帰り	94.5	399.0 (+12.0)	467.8 (+68.8)	463.5 (△4.3)	465.1 (+1.6)	472.4 (+7.3)	503.7 (+31.3)	554.7 (+51.0)	522.3 (△32.4)	502.4 (△19.9)	526.4 (+24.0)	535.8 (+9.4)
宿泊	20.2	76.9 (+5.0)	94.2 (+17.3)	94.1 (△0.1)	91.0 (△3.1)	94.5 (+3.5)	88.8 (△5.7)	103.4 (+14.6)	95.8 (△7.6)	94.5 (△1.3)	94.8 (+0.3)	89.1 (△5.7)
計	114.7	475.9 (+17.0)	562.0 (+86.1)	557.6 (△4.4)	556.1 (△1.5)	566.9 (+10.8)	592.5 (+25.6)	658.1 (+65.6)	618.1 (△40.0)	596.9 (△21.2)	621.2 (+24.3)	624.9 (+3.7)

注) ( ) 値は対前年次比較差

#### 4.2 季節型来北観光客数

来北観光客数は、日帰り観光客数に来北率を乗ずることによって推計した。

その結果、季節型の来北観光客数は約 123.3 万人と前年より 2.4 万人（約 2.0%）増加している。

表 4 - 3 季節型の来北観光客数

	日帰り観光客 (万人)	来北観光客 (万人)	来北率 (%)	参 考 (平成18年次来北観光客数)
ま つ り	459.9	101.2 (+4.1) 注4)	22.0 注1)	97.1
コンベンション	39.2	13.8 (△3.7)	52.7 注2)	17.5
産 業 観 光	15.6	7.0 (+2.0)	43.5 注2)	5.0
海 水 浴	6.5	1.3 (+0.0)	20.1 注1)	1.3
計	521.2	123.3 (+2.4)	[ 24.3 ] 注3)	120.9

注) 来北観光客及び来北率の「計」はコンベンション2位（来北率なし）の値を考慮して算出。

注 1) 平成 7 年次及び平成 11 年次実態調査結果

注 2) 主催者発表等による数字

注 3) [ ] 値は逆算値

注 4) ( ) 値は対前年次比較差

## 5 章 観光消費額とその経済波及効果

本章は、観光客による観光消費額が北九州市の産業部門に与える経済波及効果を北九州市の産業連関表を用いて把握した。なお、観光消費額は通年型観光客のみを対象としている。

### 5.1 観光消費額

#### (1) 一人当たり観光消費額

表5 - 1 一人当たり観光消費額

(円/人, %)

消費項目 \ 種類	宿泊観光		日帰り観光	
宿泊費	7,381	(44.5)	—	
飲食費	2,855	(17.2)	1,032	(23.3)
交通費	1,614	(9.7)	1,423	(32.1)
土産費	2,852	(17.2)	925	(20.8)
入場費等	1,901	(11.4)	1,057	(23.8)
計	16,603	(100.0)	4,437	(100.0)

注) 平成16年次実態調査

(2) 年間の観光消費額

前項(1)の一人当たり消費額に年間観光客数を乗じて年間観光消費額を求めると約 630.5 億円と推計され、前年次と比較して 2.0 億円(約 0.3%)減となっている。

表 5 - 2 年間観光消費額

(単位：百万円)

種類 消費項目	宿泊観光	日帰り観光	年間観光 消費額	参 考 (平成18年)
宿泊費	6,805.3	-	6,805.3	7,240.7
飲食費	2,632.3	11,103.3	13,735.6	13,723.4
交通費	1,488.1	15,310.1	16,798.2	16,644.3
土産費	2,629.5	9,952.1	12,581.6	12,588.0
入場費等	1,752.8	11,372.2	13,125.0	13,052.3
計	15,308.0	47,737.7	63,045.7	63,248.7

注) (日帰り) 1075.9万人 × 4,437円/人 = 47,737.7百万円

(宿泊) 92.2万人 × 16,603円/人 = 15,308.0百万円

63,045.7百万円

5.2 経済波及効果の試算

北九州市産業連関表を用いて試算すると、約 859.8 億円(約 1.36 倍)の生産誘発効果(一次)が認められた。

表 5 - 3 観光消費による経済波及効果の試算結果

消費項目 (産業部門)	効果 観光消費額 (百万円)	波及効果	
		生産誘発効果 (百万円)	乗数効果 /
宿泊費(サービス業)	6,805.3	9,634.8	1.42
飲食費(サービス業)	13,735.6	18,563.0	1.35
交通費(運輸業)	16,798.2	23,877.1	1.42
土産費(商業)	12,581.6	16,560.5	1.32
入場費等(サービス業)	13,125.0	17,340.1	1.32
計	63,045.7	85,975.5	1.36

注) 波及効果は「平成12年 北九州市産業連関表」により算定。

## 6 章 まとめ及び考察

北九州市における平成 19 年次の通年型観光客数は、10 年連続で 1,000 万人台を確保するとともに、1,168 万人と 2 年連続で前年を上回った（対前年比約 1.0% 11 万人増）。

「観光白書」の平成 19 年度 国民の観光動向によれば、全国的な傾向として国民 1 人当りの国内宿泊観光旅行回数・日数ともに 2 年連続して前年比減となっていることから、観光振興を取り巻く環境は全国的に益々厳しい状況となっている。

このような状況の中、本市においては、代表的な観光地である門司港レトロ地区での観光客数が増加に転じたことや、到津の森公園やグリーンパークなどの家族が気軽に楽しむことのできるエリアでも観光客が増加したことにより、市全体としては前年を上回る観光客数となった。

通年型観光客の観光消費額は約 630.5 億円と前年とほぼ同水準であり、本市の経済に大いに貢献している。

また、消費額が北九州市の生産部門に与えた誘発効果（一次）は、約 1.36 倍の約 859.8 億円と推計され、北九州市経済への波及度の大きさが伺われる。

### 6.1 通年型観光客数

#### (1) 観光客数

通年型の観光客数は、日帰り客 1,075.9 万人、宿泊客 92.2 万人の計 1,168.1 万人である。

平成 18 年次調査結果と比較すると 11.6 万人増加している（表 6 - 1）。

#### (2) 来北観光客数

市民外の来北観光客数は、日帰り客 535.8 万人、宿泊客 89.1 万人の計 624.9 万人で、通年型観光客数の約 53.5% を占める。

平成 18 年次調査結果と比較すると、3.7 万人増加している（表 6 - 1）。

表 6 - 1 通年型観光客数の推移

区分 種類		(単位:万人)											
		昭和 63年次	平成 9年次	平成 10年次	平成 11年次	平成 12年次	平成 13年次	平成 14年次	平成 15年次	平成 16年次	平成 17年次	平成 18年次	平成 19年次
通年 型 観 光 客 数	日帰り客	315.7	742.1 +21.8	910.0 +167.9	924.8 +14.8	925.4 +0.6	930.5 +5.1	1013.5 +83.0	1112.8 +99.3	1048.1 △64.7	1010.8 △37.3	1058.4 +47.6	1075.9 +17.5
	宿泊客	22.1	80.8 +5.3	98.8 +18.0	97.4 △1.4	94.2 △3.2	97.9 +3.7	91.8 △6.1	107.2 +15.4	99.1 △8.1	97.8 △1.3	98.1 +0.3	92.2 △5.9
	計	337.8	822.9 +27.1	1,008.8 +185.9	1,022.2 +13.4	1,019.6 △2.6	1,028.4 +8.8	1,105.3 +76.9	1,220.0 +114.7	1,147.2 △72.8	1,108.6 △38.6	1,156.5 +47.9	1,168.1 +11.6
来北 観 光 客 数	日帰り客	94.5	399.0 +12.0	467.8 +68.8	463.5 △4.3	465.1 +1.6	472.4 +7.3	503.7 +31.3	554.7 +51.0	522.3 △32.4	502.4 △19.9	526.4 +24.0	535.8 +9.4
	宿泊客	20.2	76.9 +5.0	94.2 +17.3	94.1 △0.1	91.0 △3.1	94.5 +3.5	88.8 △5.7	103.4 +14.6	95.8 △7.6	94.5 △1.3	94.8 +0.3	89.1 △5.7
	計	114.7	475.9 +17.0	562.0 +86.1	557.6 △4.4	556.1 △1.5	566.9 +10.8	592.5 +25.6	658.1 +65.6	618.1 △40.0	596.9 △21.2	621.2 +24.3	624.9 +3.7

注) 下段は対前年次比較差

## 6.2 季節型観光客数

季節型の観光客数は 521.2 万人、そのうち約 88.2%をまつりで占めている。また、季節型観光客数の約 23.7% (123.3 万人)が来北観光客数となっている。

表 6 - 2 季節型観光客数の変化

(単位：万人)

区分		昭和 63年次	平成 9年次	平成 10年次	平成 11年次	平成 12年次	平成 13年次	平成 14年次	平成 15年次	平成 16年次	平成 17年次	平成 18年次	平成 19年次
季節型 観光客数	まつり	234.0	520.0 54.7	516.1 -3.9	536.1 20.0	520.0 -16.1	531.8 11.8	506.0 -25.8	486.9 -19.1	502.8 15.9	509.2 6.4	428.0 -81.2	459.9 31.9
	コンベンション (イベント)	92.2	49.2 -33.2	79.0 29.8	63.5 -15.5	69.0 5.5	260.5 191.5	48.6 -211.9	34.8 -13.8	44.7 9.9	69.2 24.5	38.5 -30.7	39.2 0.7
	産業観光	12.2	18.7 3.0	17.3 -1.4	16.5 -0.8	15.8 -0.7	13.6 -2.2	13.3 -0.3	12.6 -0.7	12.7 0.1	12.1 -0.6	14.6 2.5	15.6 1.0
	海水浴	3.2	11.6 -2.4	12.0 0.4	9.7 -2.3	11.4 1.7	8.9 -2.5	11.4 2.5	6.5 -4.9	8.2 1.7	7.0 -1.2	6.6 -0.4	6.5 -0.1
	計	341.6	599.5 22.1	624.4 24.9	625.8 1.4	616.2 -9.6	814.8 198.6	579.3 -235.5	540.8 -38.5	568.4 27.6	597.5 29.1	487.7 -109.8	521.2 33.5
来北 観光客数	まつり	43.5	75.4 7.9	74.8 -0.6	113.1 38.3	103.7 -9.4	110.7 7.0	107.8 -2.9	101.5 -6.3	109.5 8.0	111.7 2.2	97.1 -14.6	101.2 4.1
	コンベンション (イベント)	14.8	14.2 -1.7	33.2 19.0	28.5 -4.7	26.8 -1.7	128.7 101.9	18.3 -110.4	15.3 -3.0	20.1 4.8	32.5 12.4	17.5 -15.0	13.8 -3.7
	産業観光	7.9	8.8 0.5	7.5 -1.3	6.9 -0.6	6.4 -0.5	5.5 -0.9	5.2 -0.3	4.9 -0.3	5.0 0.1	4.4 -0.6	5.0 0.6	7.0 2.0
	海水浴	0.4	2.3 -0.5	2.4 0.1	1.9 -0.5	2.3 0.4	1.8 -0.5	2.3 0.5	1.3 -1.0	1.6 0.3	1.4 -0.2	1.3 -0.1	1.3 0.0
	計	66.6	100.7 6.2	117.9 17.2	150.4 32.5	139.2 -11.2	246.7 107.5	133.6 -113.1	123.0 -10.6	136.2 13.2	150.0 13.8	120.9 -29.1	123.3 2.4

注) 下段は対前年次比較差

## 6.3 観光消費額(通年型)と経済波及効果

平成 19 年次の観光消費額は、対前年比 2.0 億円減の 630.5 億円で、生産誘発効果(一次)では 2.9 億円減の 859.8 億円となっている。

このように、平成 18 年次と比べて若干減少してはいるものの、観光による消費は北九州市の経済に貢献している。

表 6 - 3 観光消費額及び経済波及効果の推移

(単位：億円)

項目	年	昭和 63年次	平成 9年次	平成 10年次	平成 11年次	平成 12年次	平成 13年次	平成 14年次	平成 15年次	平成 16年次	平成 17年次	平成 18年次	平成 19年次
観光消費額		103.6	461.7 (+18.5)	659.8 (+198.1)	607.9 (△51.9)	602.1 (△5.8)	611.4 (+9.3)	637.8 (+26.4)	712.4 (+74.6)	629.6 (△82.8)	610.9 (△18.7)	632.5 (+21.6)	630.5 (△2.0)
波及効果額		143.4	635.7 (+25.4)	911.3 (+275.6)	838.0 (△73.3)	822.3 (△15.7)	835.1 (+12.8)	870.9 (+35.8)	972.9 (+102.0)	858.8 (△114.1)	833.3 (△25.5)	862.7 (+29.4)	859.8 (△2.9)
乗数効果		1.38	1.38	1.38	1.38	1.37	1.37	1.37	1.37	1.36	1.36	1.36	1.36

注) ・( ) 値は対前年次比較差。

・生産誘発効果は平成11年次までは「平成7年 北九州市産業連関表」、平成12年次以降は「平成12年 北九州市産業連関表」より算定している。

【参考 - 1】 過去の外国人観光客数（概数）

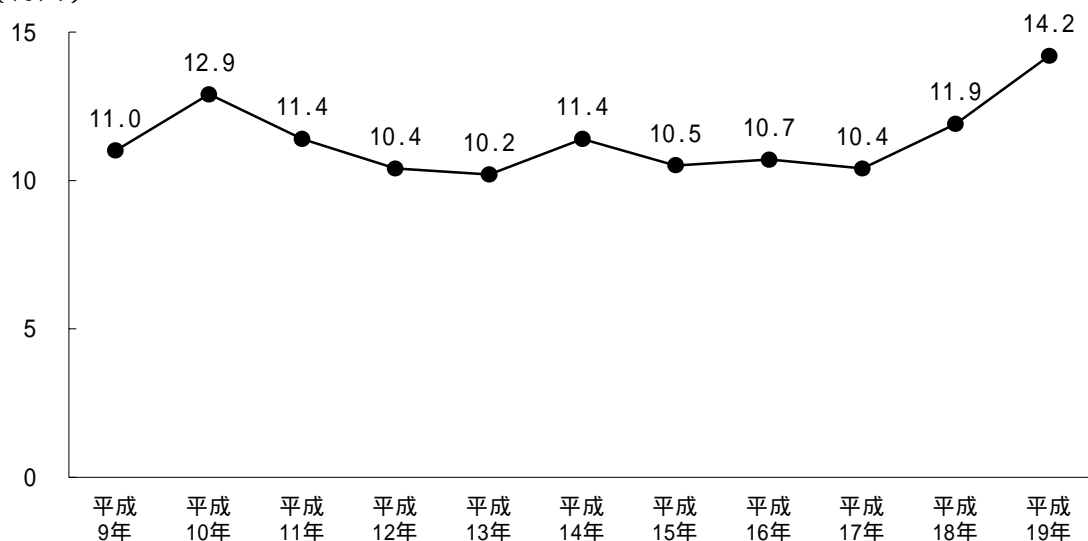
北九州市を訪れた平成 19 年の外国人観光客数は、約 14.2 万人と推計される。

（単位：万人）

年	平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年
外国人観光客	11.0	12.9	11.4	10.4	10.2	11.4	10.5	10.7	10.4	11.9	14.2

（北九州市国際観光推進協議会及び各宿泊施設・産業観光施設調べ）

（万人）



【参考 - 2】 過去の修学旅行生数（概数）

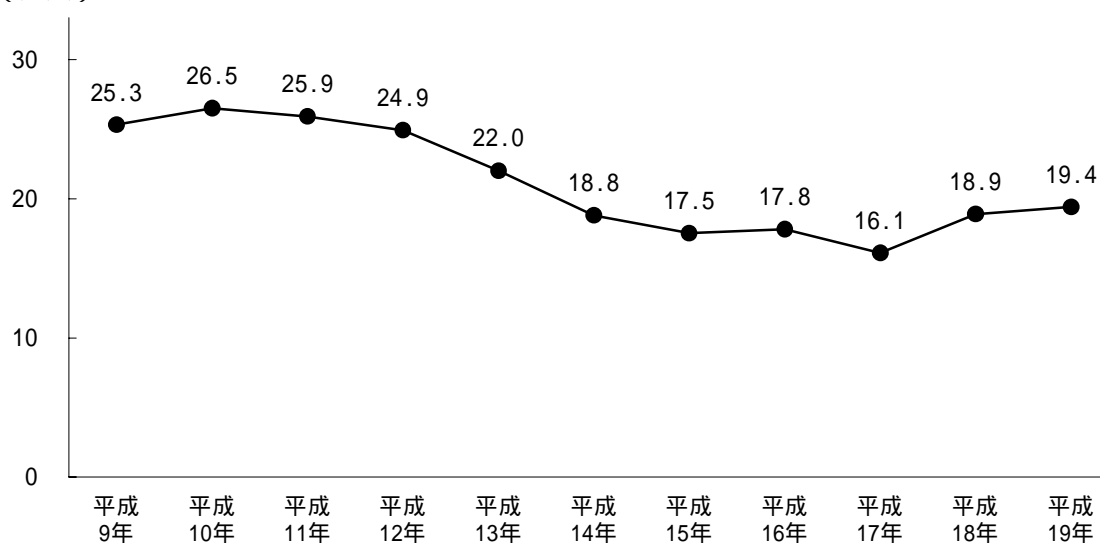
北九州市を訪れた平成 19 年の修学旅行生数は、約 19.4 万人と推計される。

（単位：万人）

年	平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年
修学旅行生数	25.3	26.5	25.9	24.9	22.0	18.8	17.5	17.8	16.1	18.9	19.4

（各立ち寄り施設・産業観光施設調べ）

（万人）



# 7章 観光客数推移動向

## 7.1 年次別観光客数内訳

表7-1 年次別観光客数内訳

(単位:万人)

年次 区分	昭和63年次			平成9年次			平成10年次			平成11年次			平成12年次			平成13年次			平成14年次			平成15年次			平成16年次			平成17年次			平成18年次			平成19年次		
	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計			
市内宿泊	20.2	1.9	22.1	76.9	3.9	80.8	94.2	4.6	98.8	94.1	3.3	97.4	91.0	3.2	94.2	94.5	3.4	97.9	88.8	3.0	91.8	103.4	3.8	107.2	95.8	3.3	99.1	94.5	3.3	97.8	94.8	3.3	98.1	89.1	3.1	92.2
				+5.0	+0.3	+5.3	+17.3	+0.7	+18.0	△0.1	△1.3	△1.4	△3.1	△0.1	△3.2	+3.5	+0.2	+3.7	△5.7	△0.4	△6.1	+14.6	+0.8	+15.4	△7.6	△0.5	△8.1	△1.3	±0.0	△1.3	+0.3	±0.0	+0.3	△5.7	△0.2	△5.9
日帰り	94.5	221.2	315.7	399.0	343.1	742.1	467.8	442.2	910.0	463.5	461.3	924.8	465.1	460.3	925.4	472.4	458.1	930.5	503.7	509.8	1,013.5	554.7	558.1	1,112.8	522.3	525.8	1,048.1	502.4	508.4	1,010.8	526.4	532.0	1,058.4	535.8	540.1	1,075.9
				+12.0	+9.8	+21.8	+68.8	+99.1	+167.9	△4.3	+19.1	+14.8	+1.6	△1.0	+0.6	+7.3	△2.2	+5.1	+31.3	+51.7	+83.0	+51.0	+48.3	+99.3	△32.4	△32.3	△64.7	△19.9	△17.4	△37.3	+24.0	+23.6	+47.6	+9.4	+8.1	+17.5
日帰り計	161.2	496.1	657.3	499.7	841.9	1,341.6	585.7	948.7	1,534.4	613.9	936.7	1,550.6	604.3	937.3	1,541.6	719.1	1,026.2	1,745.3	637.3	955.5	1,592.8	677.7	975.9	1,653.6	658.5	958.0	1,616.5	652.4	955.9	1,608.3	647.3	898.8	1,546.1	659.1	938.0	1,597.1
				+6.2	+15.9	+22.1	+17.2	+7.7	+24.9	+32.5	△31.1	+1.4	△11.2	+1.6	△9.6	+107.5	+91.1	+198.6	△113.1	△122.4	△235.5	△10.6	△27.9	△38.5	+13.2	+14.4	+27.6	+13.8	+15.3	+29.1	△29.1	△80.7	△109.8	+2.4	+31.1	+33.5
通年型計	114.7	223.1	337.8	475.9	347.0	822.9	562.0	446.8	1,008.8	557.6	464.6	1,022.2	556.1	463.5	1,019.6	566.9	461.5	1,028.4	592.5	512.8	1,105.3	658.1	561.9	1,220.0	618.1	529.1	1,147.2	596.9	511.7	1,108.6	621.2	535.3	1,156.5	624.9	543.2	1,168.1
				+17.0	+10.1	+27.1	+86.1	+99.8	+185.9	△4.4	+17.8	+13.4	△1.5	△1.1	△2.6	+10.8	△2.0	+8.8	+25.6	+51.3	+76.9	+65.6	+49.1	+114.7	△40.0	△32.8	△72.8	△21.2	△17.4	△38.6	+24.3	+23.6	+47.9	+3.7	+7.9	+11.6
総観光客数	181.4	498.0	679.4	576.6	845.8	1,422.4	679.9	953.3	1,633.2	708.0	940.0	1,648.0	695.3	940.5	1,635.8	813.6	1,029.6	1,843.2	726.1	958.5	1,684.6	781.1	979.7	1,760.8	754.3	961.3	1,715.6	746.9	959.2	1,706.1	742.1	902.1	1,644.2	748.2	941.1	1,689.3
				+23.2	+26.0	+49.2	+103.3	+107.5	+210.8	+28.1	△13.3	+14.8	△12.7	+0.5	△12.2	+118.3	+89.1	+207.4	△87.5	△71.1	△158.6	+55.0	+21.2	+76.2	△26.8	△18.4	△45.2	△7.4	△2.1	△9.5	△4.8	△57.1	△61.9	+6.1	+39.0	+45.1

注1) 日帰り観光客の中には市外に宿泊した観光客も含む。  
 注2) 下段は対前年次比較差  
 注3)      は前年次比増加

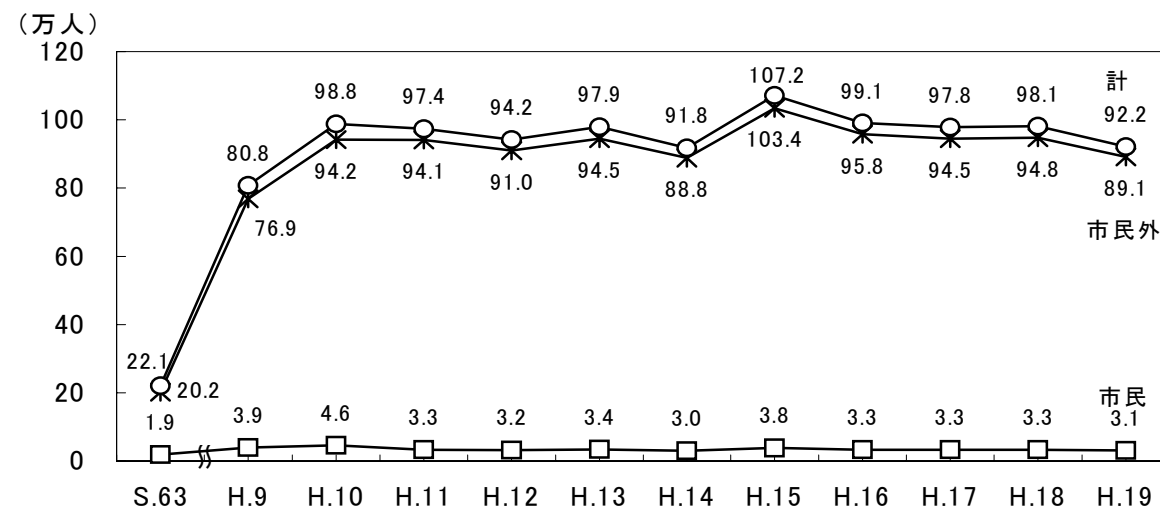


図7-1 市内宿泊者数の推移

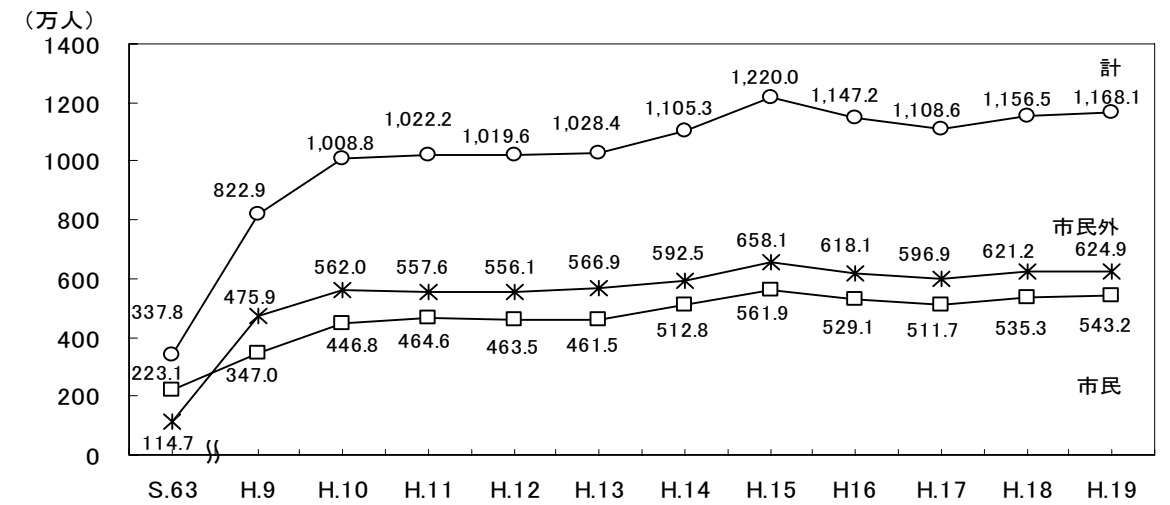


図7-3 通年型観光客数の推移

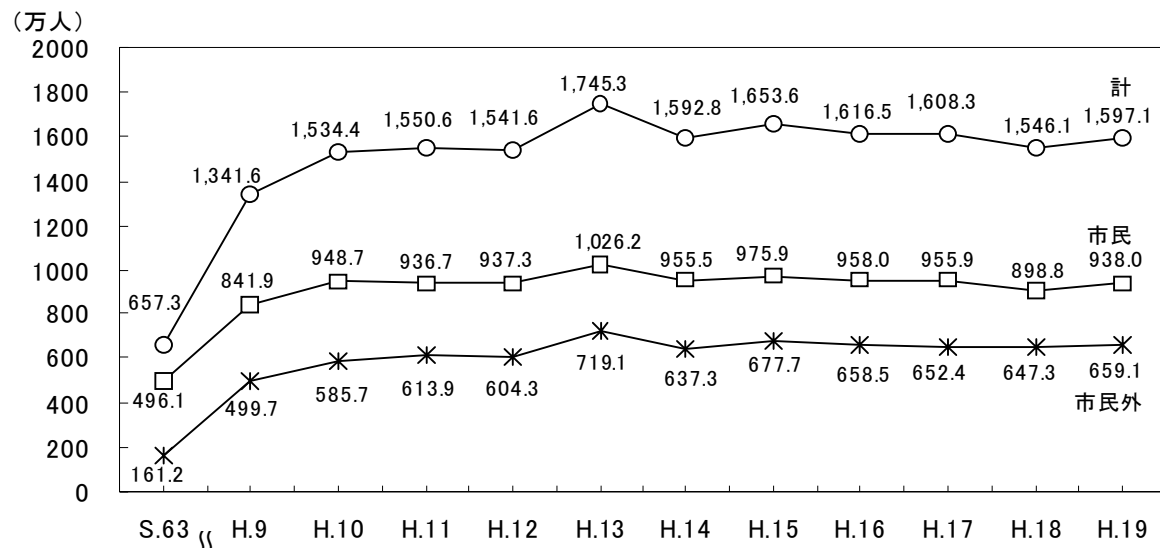


図7-2 日帰り観光客数(通年型+季節型)の推移

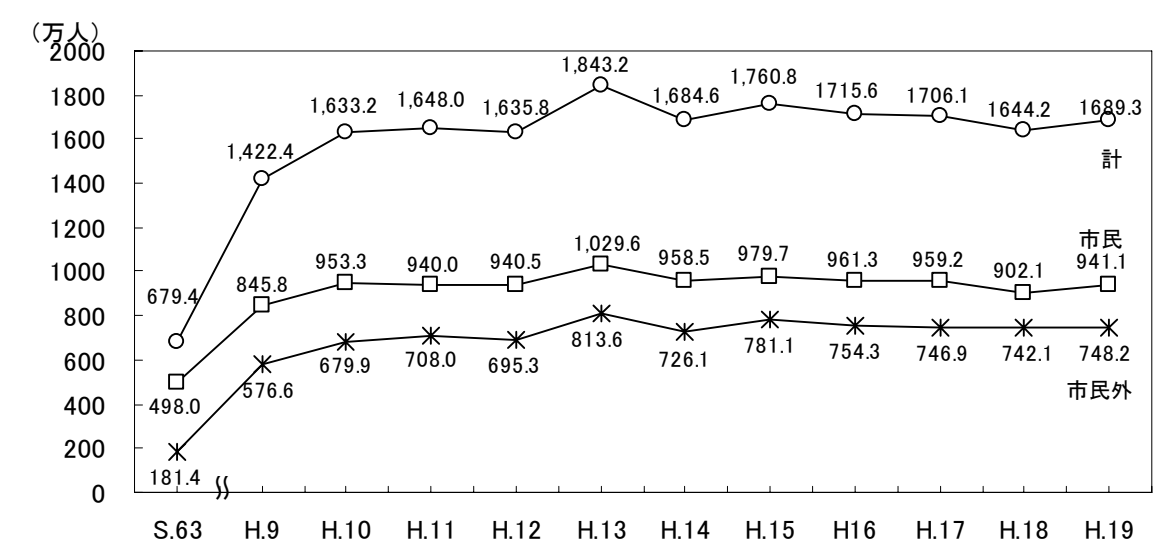


図7-4 総観光客数の推移

7.2 年次別代表的立寄り地区観光客数内訳

表7-2 年次別代表的立寄り地区観光客数内訳

(単位:万人)

年次	昭和63年次			平成9年次			平成10年次			平成11年次			平成12年次			平成13年次			平成14年次			平成15年次			平成16年次			平成17年次			平成18年次			平成19年次		
	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計			
スペースワールド地区注2)	-	-	-	190.0	36.1	226.1	195.9	36.2	232.1	214.6	30.6	245.2	197.8	28.5	226.3	189.9	27.9	217.8	180.9	25.9	206.8	202.5	27.8	230.3	181.3	27.4	208.7	177.6	23.7	201.3	178.3	21.7	200.0	177.0	22.9	199.9
門司港地区注3)	67.4	5.4	72.8	235.2	31.0	266.2	254.2	34.5	288.7	277.5	35.9	313.4	287.8	36.1	323.9	296.5	38.0	334.5	307.3	37.2	344.5	348.6	44.2	392.8	327.8	35.2	363.0	305.8	32.1	337.9	303.2	31.6	334.8	313.1	30.9	344.0
レトロ地区				124.5	23.7	148.2	138.7	27.2	165.9	159.4	28.4	187.8	168.1	28.6	196.7	174.7	30.0	204.7	181.7	29.8	211.5	219.0	36.0	255.0	202.7	28.2	230.9	190.0	26.0	216.0	188.4	25.6	214.0	195.1	25.1	220.2
和布刈	67.4	5.4	72.8	110.7	7.3	118.0	115.5	7.3	122.8	118.1	7.5	125.6	119.7	7.5	127.2	121.8	8.0	129.8	125.6	7.4	133.0	129.6	8.2	137.8	125.1	7.0	132.1	115.8	6.1	121.9	114.8	6.0	120.8	118.0	5.8	123.8
平尾台注9)	33.3	3.3	36.6	58.3	0.8	59.1	62.0	2.6	64.6	56.5	2.0	58.5	62.0	2.0	64.0	47.6	1.7	49.3	48.0	1.5	49.5	54.0	1.9	55.9	49.5	1.4	50.9	50.7	1.7	52.4	52.0	1.7	53.7	53.9	1.5	55.4
到津遊園(到津の森公園)注8)	74.8	2.1	76.9	37.9	1.1	39.0	50.7	0.9	51.6	35.5	0.2	35.7	28.1	0.0	28.1	0.0	0.0	0.0	61.5	0.2	61.7	33.7	0.2	33.9	35.8	0.3	36.1	39.0	0.3	39.3	34.0	0.2	34.2	37.9	0.3	38.2
皿倉山周辺(帆柱山)	53.2	4.9	58.1	48.8	1.5	50.3	50.4	3.3	53.7	45.3	3.5	48.8	43.1	3.4	46.5	55.7	4.4	60.1	54.2	3.9	58.1	52.2	3.9	56.1	51.4	3.8	55.2	46.9	3.5	50.4	39.6	3.5	43.1	37.7	3.5	41.2
グリーンパーク注4)(動物ワールド)	-	-	-	58.5	0.8	59.3	52.3	1.5	53.8	51.9	1.2	53.1	49.7	1.1	50.8	45.2	1.0	46.2	43.1	0.9	44.0	46.1	1.0	47.1	44.7	1.0	45.7	44.2	0.9	45.1	44.3	1.0	45.3	50.8	1.0	51.8
小倉城周辺注5)	23.5	1.2	24.7	20.7	2.8	23.5	37.7	11.7	49.4	48.6	10.0	58.6	39.6	8.2	47.8	32.6	6.7	39.3	36.0	7.3	43.3	51.5	8.8	60.3	46.9	7.7	54.6	40.6	6.3	46.9	36.4	5.9	42.3	37.3	6.0	43.3
小倉駅周辺注6)(AIM,アミュプラザ)	-	-	-	-	-	-	52.2	1.5	53.7	45.0	2.4	47.4	42.9	2.2	45.1	41.9	2.2	44.1	43.4	2.4	45.8	41.9	2.3	44.2	40.5	2.2	42.7	38.4	2.0	40.4	39.1	2.1	41.2	38.1	2.2	40.3
総合農事センター注7)	-	-	-	-	-	-	44.9	0.0	44.9	43.5	0.0	43.5	40.1	0.0	40.1	39.3	0.0	39.3	34.9	0.0	34.9	33.0	0.0	33.0	31.3	0.0	31.3	31.4	0.0	31.4	28.7	0.0	28.7	32.0	0.0	32.0
河内貯水池周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23.4	0.1	23.5	54.3	0.4	54.7	48.4	0.4	48.8	43.5	0.3	43.8	38.9	0.2	39.1	35.7	0.2	35.9	32.2	0.2	32.4	24.9	0.2	25.1

注1)日帰り観光客の中には市外に宿泊した観光客も含む。  
 注2)スペースワールド:平成2年4月22日開業,シーサイドスパ:平成10年11月3日開業,自然史・歴史博物館:平成14年11月3日開館,汐入の里:平成16年4月1日オープン  
 注3)平成7年3月25日門司港レトログランドオープン,海峡ドラマシップ:平成15年4月26日オープン,九州鉄道記念館:平成15年8月9日オープン  
 注4)平成4年4月グリーンパーク開園  
 注5)平成2年3月1日~7月19日迄改装のため閉鎖,松本清張記念館:平成10年8月4日開館,小倉城庭園:平成10年9月29日開場,リバーウォーク:平成15年4月19日オープン

注6)アミュプラザ:平成10年3月14日オープン,AIMビル:平成10年4月1日オープン  
 注7)平成10年4月29日リニューアルオープン  
 注8)平成14年4月13日リニューアルオープン  
 注9)平尾台自然の郷:平成15年4月20日オープン  
 注10)下段は対前年次比較差  
 注11)    は対前年次比増加

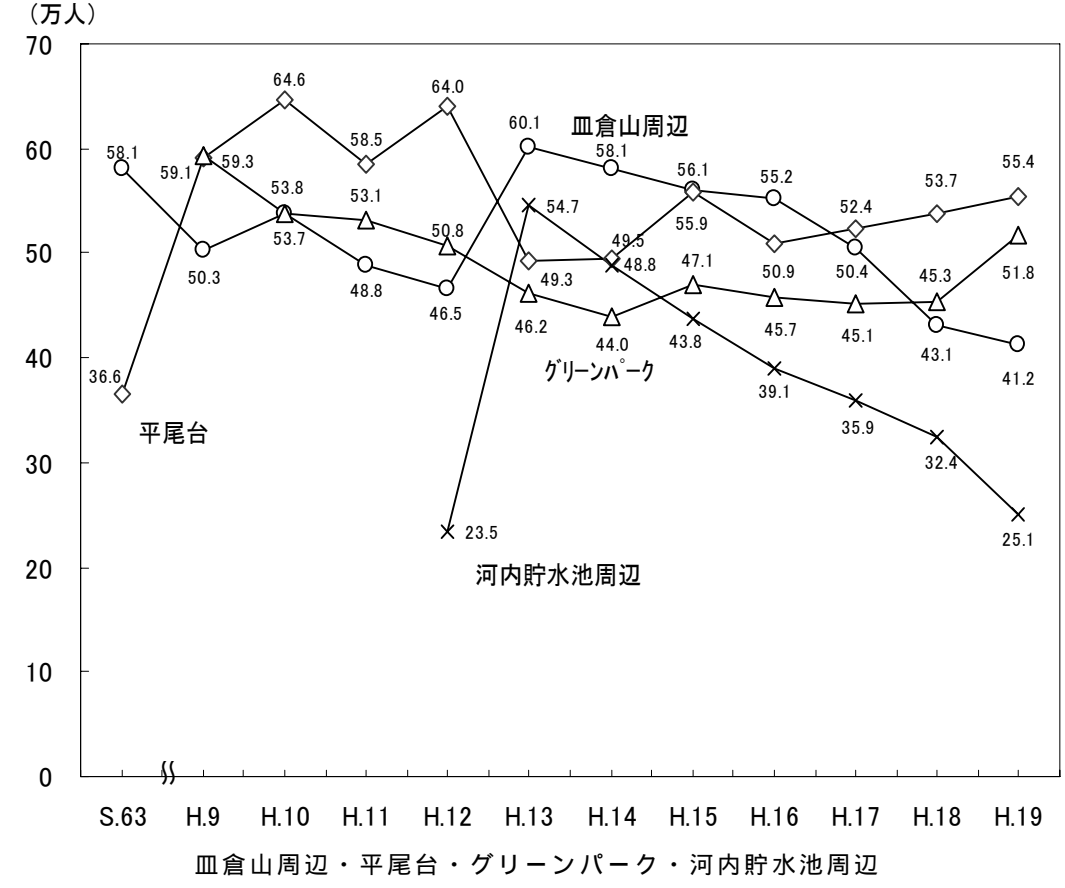
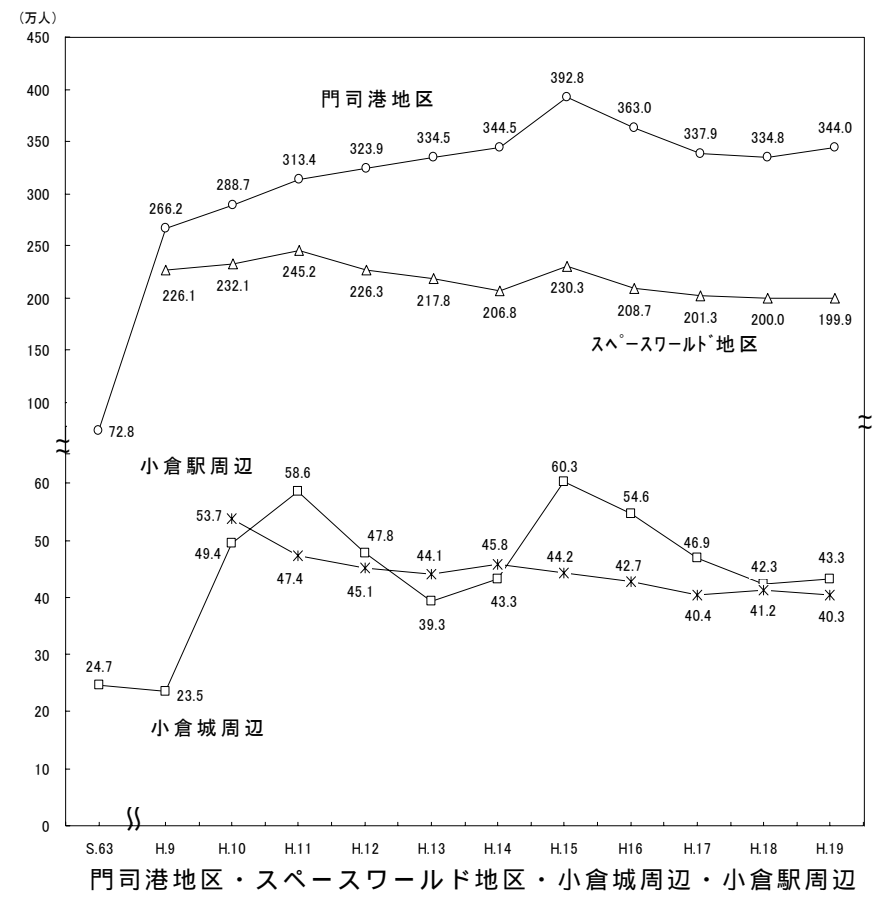


図7-5 立寄り地区の観光客数(日帰り+宿泊)の推移

7.3 年次別季節型観光客数内訳

表7-3 年次別季節型観光客数内訳

(単位:万人)

年次 種類	昭和63年次			平成9年次			平成10年次			平成11年次			平成12年次			平成13年次			平成14年次			平成15年次			平成16年次			平成17年次			平成18年次			平成19年次		
	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計	市民外	市民	計			
まつり	43.5	190.5	234.0	75.4 +7.9	444.6 +46.8	520.0 +54.7	74.8 △0.6	441.3 △3.3	516.1 △3.9	113.1 +38.3	423.0 △18.3	536.1 +20.0	103.7 △9.4	416.3 △6.7	520.0 △16.1	110.7 +7.0	421.1 +4.8	531.8 +11.8	107.8 △2.9	398.2 △22.9	506.0 △25.8	101.5 △6.3	385.4 △12.8	486.9 △19.1	109.5 +8.0	393.3 +7.9	502.8 +15.9	111.7 +2.2	397.5 +4.2	509.2 +6.4	97.1 △14.6	330.9 △66.6	428.0 △81.2	101.2 +4.1	358.7 +27.8	459.9 +31.9
コンベンション	14.8	77.4	92.2	14.2 △1.7	35.0 △31.5	49.2 △33.2	33.2 +19.0	45.8 +10.8	79.0 +29.8	28.5 △4.7	35.0 △10.8	63.5 △15.5	26.8 △1.7	42.2 +7.2	69.0 +5.5	128.7 +101.9	131.8 +89.6	260.5 +191.5	18.3 △110.4	30.3 △101.5	48.6 △211.9	15.3 △3.0	19.5 △10.8	34.8 △13.8	20.1 +4.8	24.6 +5.1	44.7 +9.9	32.5 +12.4	36.7 +12.1	69.2 +24.5	17.5 △15.0	21.0 △15.7	38.5 △30.7	13.8 △3.7	25.4 +4.4	39.2 +0.7
産業観光	7.9	4.3	12.2	8.8 +0.5	9.9 +2.5	18.7 +3.0	7.5 △1.3	9.8 △0.1	17.3 △1.4	6.9 △0.6	9.6 △0.2	16.5 △0.8	6.4 △0.5	9.4 △0.2	15.8 △0.7	5.5 △0.9	8.1 △1.3	13.6 △2.2	5.2 △0.3	8.1 ±0.0	13.3 △0.3	4.9 △0.3	7.7 △0.4	12.6 △0.7	5.0 +0.1	7.7 ±0.0	12.7 +0.1	4.4 △0.6	7.7 ±0.0	12.1 △0.6	5.0 +0.6	9.6 +1.9	14.6 +2.5	7.0 +2.0	8.6 △1.0	15.6 +1.0
海水浴	0.4	2.8	3.2	2.3 △0.5	9.3 △1.9	11.6 △2.4	2.4 +0.1	9.6 +0.3	12.0 +0.4	1.9 △0.5	7.8 △1.8	9.7 △2.3	2.3 +0.4	9.1 +1.3	11.4 +1.7	1.8 △0.5	7.1 △2.0	8.9 △2.5	2.3 +0.5	9.1 +2.0	11.4 +2.5	1.3 △1.0	5.2 △3.9	6.5 △4.9	1.6 +0.3	6.6 +1.4	8.2 +1.7	1.4 △0.2	5.6 △1.0	7.0 △1.2	1.3 △0.1	5.3 △0.3	6.6 △0.4	1.3 ±0.0	5.2 △0.1	6.5 +3.5
季節型計	66.6	275.0	341.6	100.7 +6.2	498.8 +15.9	599.5 +22.1	117.9 +17.2	506.5 +7.7	624.4 +24.9	150.4 +32.5	475.4 △31.1	625.8 +1.4	139.2 △11.2	477.0 +1.6	616.2 △9.6	246.7 +107.5	568.1 +91.1	814.8 +198.6	133.6 △113.1	445.7 △122.4	579.3 △235.5	123.0 △10.6	417.8 △27.9	540.8 △38.5	136.2 +13.2	432.2 +14.4	568.4 +27.6	150.0 +13.8	447.5 +15.3	597.5 +29.1	120.9 △29.1	366.8 △80.7	487.7 △109.8	123.3 +2.4	397.9 +31.1	521.2 +33.5

注1) 下段は対前年次比較差  
注2) 黄色は前年次比増加

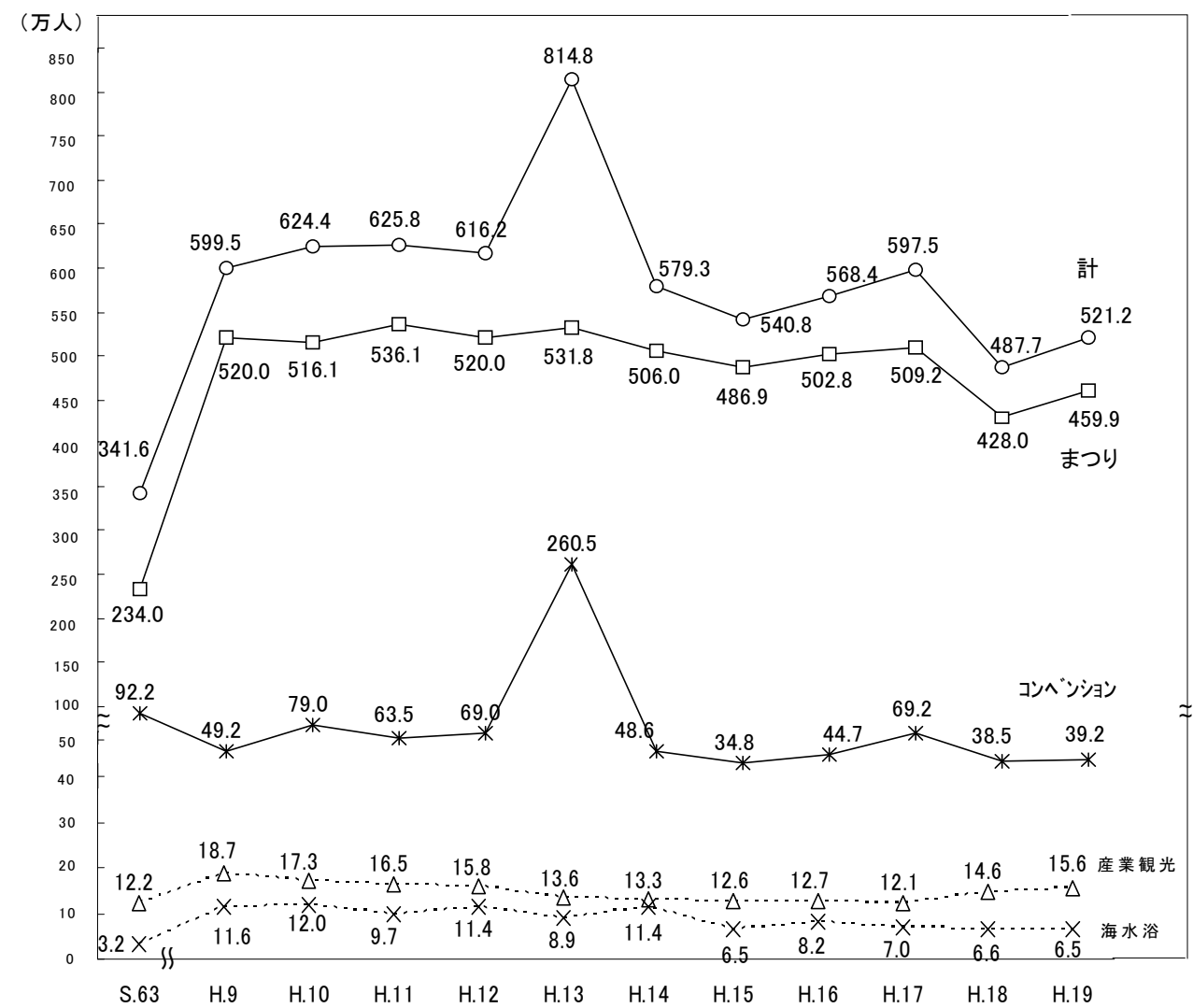
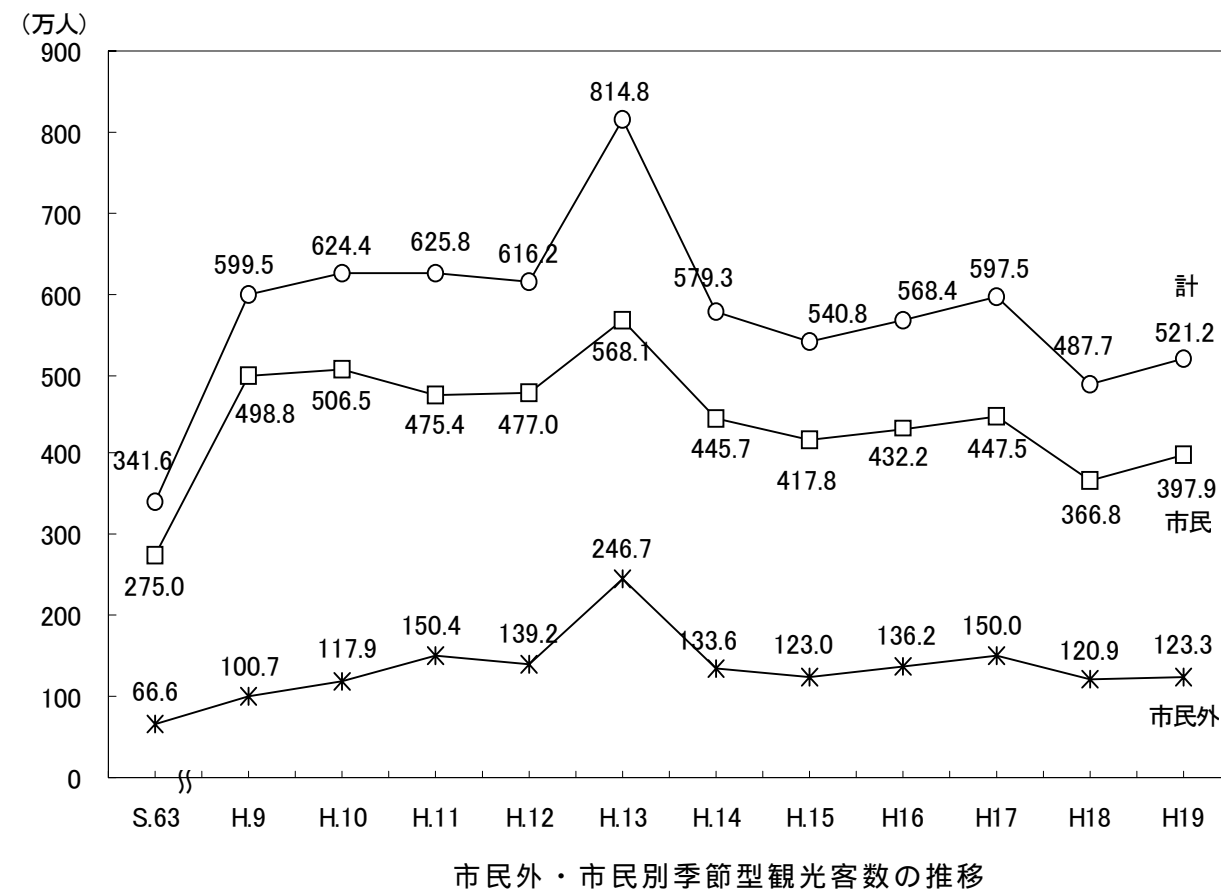


図7-6 季節型観光客数の推移

北九州市産業経済局 商業・観光部 観光課

T E L 093 - 582 - 2054

F A X 093 - 581 - 9352

平成 20 年 8 月発行